

第1回 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用検討会

日 時:令和6年11月22日(金) 15時00分から17時00分まで
場 所:仙台市役所本庁舎8階 第5委員会室

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 委員挨拶

4. 座長及び座長代理の選出

5. 議 事

(1)検討会の目的と進め方について

資料1

(2)広瀬川(大橋周辺)の現状について

資料2

(3)広瀬川(大橋周辺)水辺利活用について

資料3

6. 閉 会

○配布資料

資料1

検討会の目的と進め方について

資料2

広瀬川(大橋周辺)の現状について

資料3

広瀬川(大橋周辺)水辺利活用について

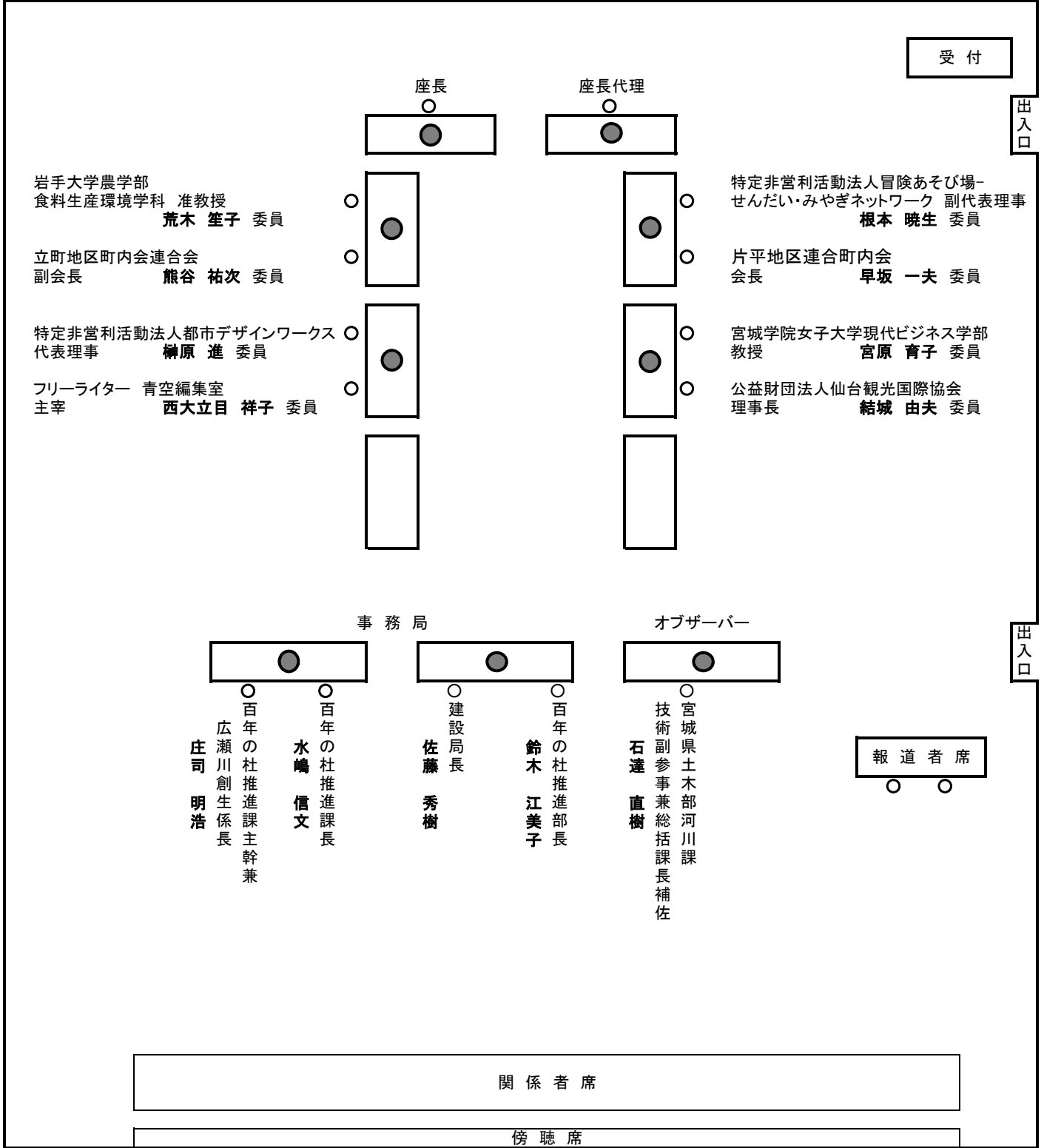
参考資料1

広瀬川(大橋周辺)水辺利活用検討会設置要綱

第1回 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用検討会 席次表

日時: 令和6年11月22日(金) 15時00分から17時00分まで
 場所: 仙台市役所本庁舎8階 第5委員会室

● : マイク



広瀬川(大橋周辺)水辺利活用検討会 委員名簿

令和6年11月時点

氏名	役職又は団体名
あらき しょうこ 荒木 笙子	岩手大学農学部食料生産環境学科 准教授
くまがい ゆうじ 熊谷 祐次	立町地区町内会連合会 副会長
さかきぼら すすむ 榊原 進	特定非営利活動法人都市デザインワークス 代表理事
にしおおたちめ しょうこ 西大立目 祥子	フリーライター 青空編集室主宰
ねもと あきお 根本 暁生	特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク 副代表理事
はやさか かずお 早坂 一夫	片平地区連合町内会 会長
みやはら いくこ 宮原 育子	宮城学院女子大学現代ビジネス学部 教授
ゆうき よしお 結城 由夫	公益財団法人仙台観光国際協会 理事長

(敬称略・五十音順)

事務局：仙台市（百年の杜推進課）

オブザーバー：宮城県河川課（河川管理者）

第1回広瀬川（大橋周辺）水辺利活用検討会 事務局出席者名簿

所属	職名	氏名
建設局百年の杜推進部	部長	鈴木 江美子
建設局百年の杜推進部百年の杜推進課	課長	水嶋 信文
建設局百年の杜推進部百年の杜推進課	主幹兼広瀬川創生係長	庄司 明浩
建設局百年の杜推進部百年の杜推進課	主査	小松 健一

検討会の目的と進め方について

1 検討会の目的

本検討会は、広瀬川(大橋周辺)における水辺の利活用に関する基本的な方針を定める広瀬川(大橋周辺)水辺利活用基本構想及び基本構想に基づき広瀬川(大橋周辺)における河川緑地の基本的な整備内容を定める広瀬川(大橋周辺)水辺利活用基本計画の策定に当たり、学識経験者等の意見を反映させることを目的とする。

2 事業の概要

事業期間	令和6年度～令和11年度
概要	<p>広瀬川を含む青葉山周辺は、仙台の始まりの地ともいえる場所であるとともに、仙台市基本計画において国際学術文化交流拠点として、重要な拠点として位置付けられている。また、仙台青葉山エリア文化観光交流ビジョンでは、青葉山エリアの価値・魅力・回遊性の向上を図ることとされている。</p> <p>広瀬川に架かる大橋周辺では、青葉山公園の整備や西公園の再整備、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の整備といった大きなプロジェクトが進行している。広瀬川沿いで進行するプロジェクトやまちづくりの取組みなどとの連携や情報の共有を行いながら、青葉山エリアにおける新たな魅力の創出や都心部との回遊性向上を図り、同エリアのにぎわいを創出していくため、広瀬川における水辺の利活用方針について検討を行う。</p>

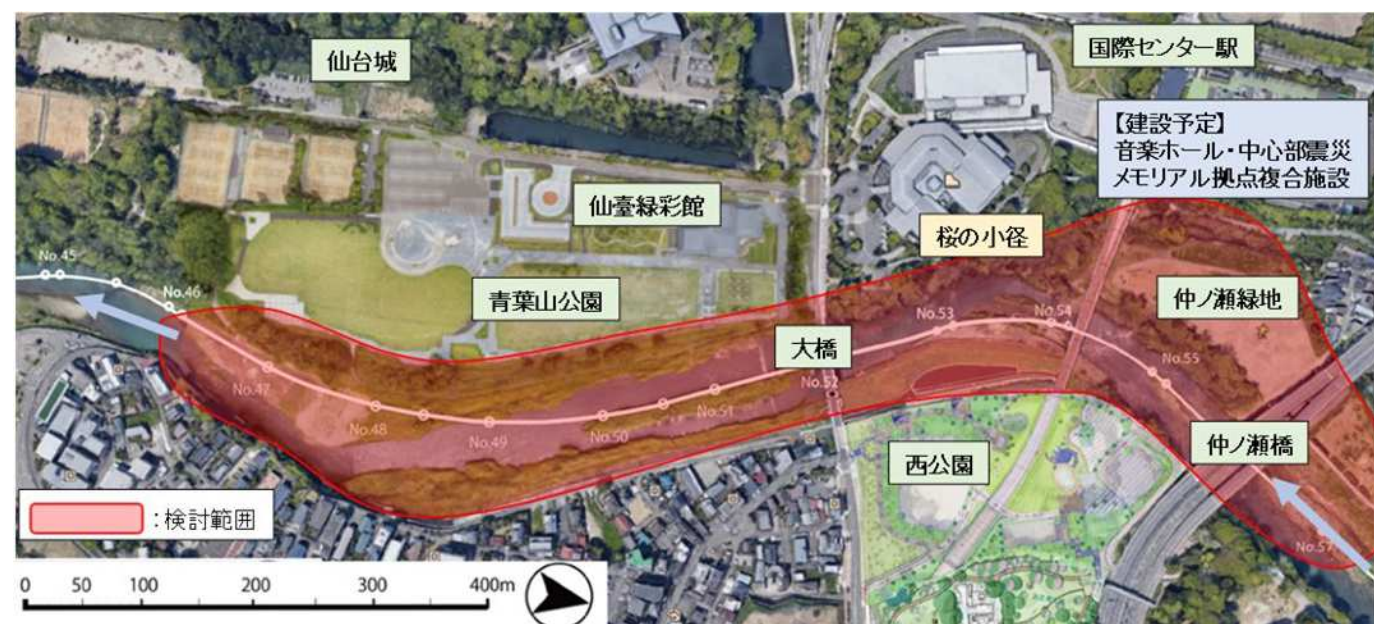
3 事業スケジュール

2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)	2026 (令和8年度)	2027 (令和9年度)	2028 (令和10年度)	2029 (令和11年度)
基本構想	基本計画	測量・基本設計	実施設計	工事	工事
検討会	検討会				

◆令和6年度は対象範囲における基本理念・整備のテーマについて取りまとめた基本構想を策定

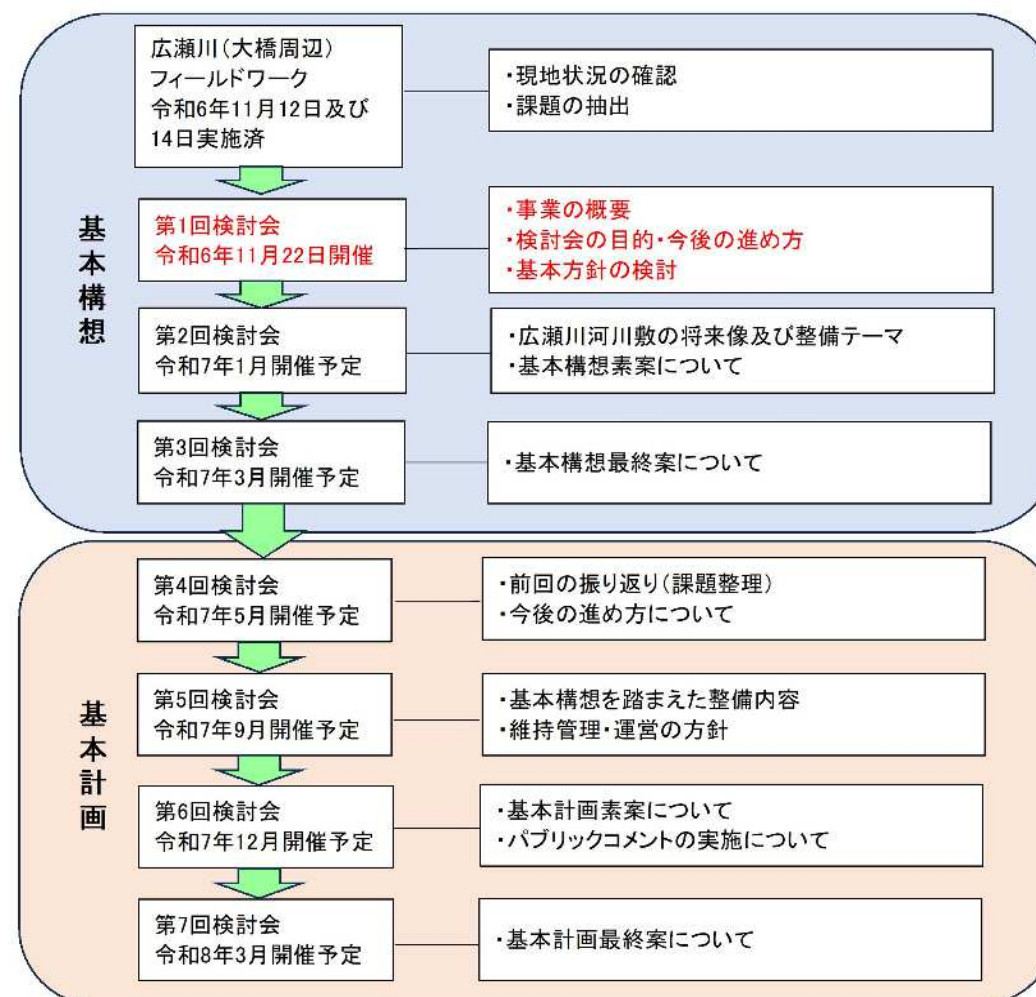
◆令和7年度は関連計画等との整合を図りながら、計画の基本方針及び浸水施設等の整備内容をとりまとめた基本計画を策定

4 検討範囲



5 検討会の進め方

検討会は7回開催し、検討内容は次の通りとする。



1 現況図



評定河原 大露頭 竜の口 早坂淵 既設坂路 導水トンネル取水口跡 桜の小径 石垣 仙臺緑彩館 既設スロープ 桜の小径 五間淵 貝の化石等の観察 国際センター駅



銭形不動尊 既設階段 堰跡 旧大橋橋脚跡 既設スロープ 既設階段

- 広瀬川(大橋周辺)の特徴**
- ・青葉山公園(右岸)、西公園(左岸)が整備中で、公園に隣接した貴重な都市の水辺空間となる。
- ・大橋周辺から仙台城跡を南西方向に望み、伊達政宗公騎馬像を確認でき、杜の都仙台を感じる水辺空間である。
- ・昭和13年につけられたアーチ形状の大橋は、地域のシンボルとなっている。
- ・広瀬川の右岸では大橋を中心に桜の小径が整備されている。



銭形不動尊 大橋から下流左岸を望む 大橋下流左岸 大橋下流から青葉山を望む 大橋 大橋から上流左岸を望む

2 フィールドワークの結果

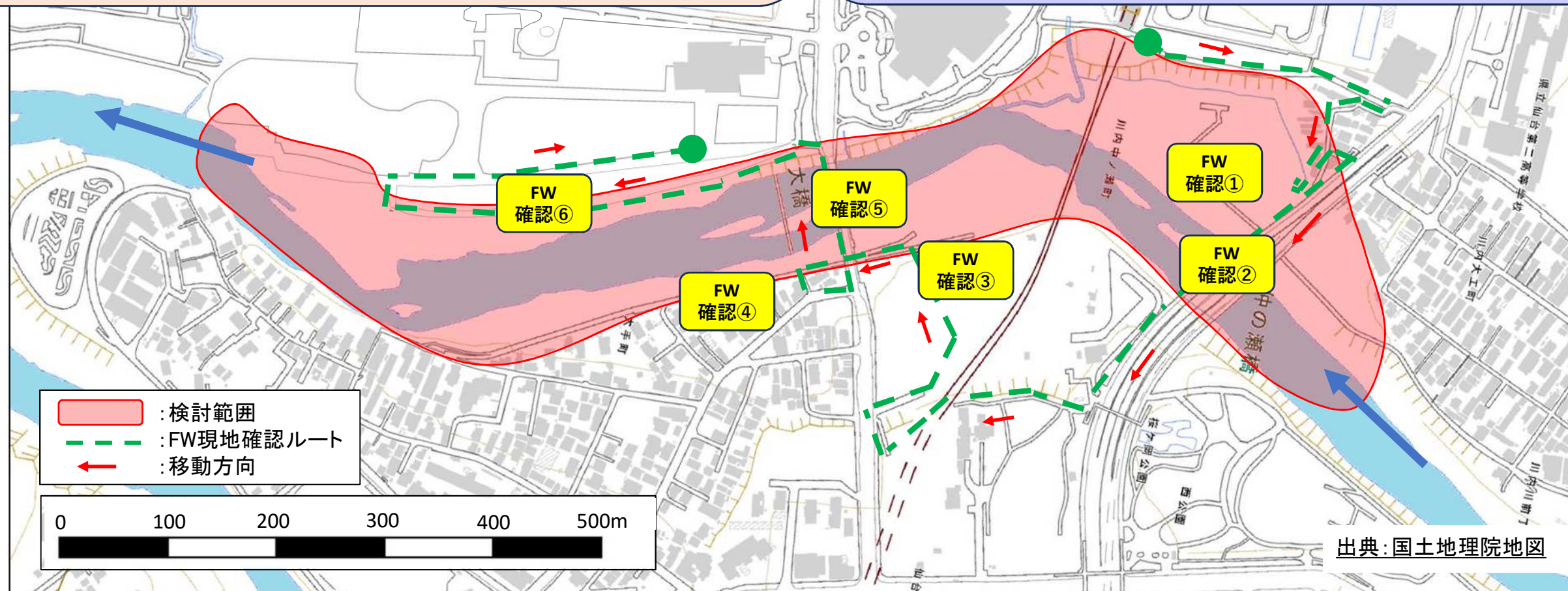
広瀬川(大橋周辺)の現状の把握と課題の抽出を目的として広瀬川(大橋周辺)フィールドワーク(以下「FW」という)を実施

FW確認⑥での意見

- ・埋蔵文化財包蔵地に指定されている広瀬川右岸(青葉山公園追廻地区側)の石垣を間近に触れ、歴史・文化を感じられる水辺空間の創出が期待できる。堰より下流は、舟運で利用された過去もある。散策路に案内板があるとよい。
- ・自然景観を残すもの、新しく造るもののバランスと調和を図ると良い。
- ・青葉山公園(仙臺緑彩館)エリアから河川敷へのアプローチが上流と下流にしかなく、400m離れており、中間地点にアクセス階段等があればよい。

FW確認①、②での意見

- ・桜の小径や青葉山交流広場に建設予定である複合施設との一体利用が期待できる。
- ・大正元年頃は、この地点が中州であり、流路が分かれていた。流域の歴史を学べるようなスポットとする。散策路に案内板があるとよい。
- ・水辺で化石の観察ができるなどの地域特性を活かすとよい。
- ・安全に水辺に近づける環境整備を行うとよい。
- ・対岸へ渡る施設があるとよい。
- ・案内板を整備することで、管理している意思表示に繋がる。仲ノ瀬橋からの景色が素晴らしいが通行人に分かるようなビュースポットを紹介する案内板があるとよい。



FW確認④、⑤での意見

- ・対岸の青葉山や大橋を望むビューポイントとなる。
- ・対岸からの眺望として修景護岸を整備してもいいのではないかと。
- ・中州の樹木管理(維持管理)が必要である。
- ・イベントで実施した浮棧橋が良かった。
- ・大橋は仙台市都市景観賞にも選ばれた重要な橋である。また、大手門と城下町を結ぶ橋として架けられた歴史や水害で何度も流された過去もある。それらを紹介する案内板があってもよい。

FW確認③での意見

- ・西公園との一体的利用により市民の憩いの場となるような親水空間の創出が期待できる。
- ・西公園から河川敷の景観を落ち着いて眺められる憩いの空間である。
- ・水辺に常に近づけるように陸間ゲートを開けておくべきでは。
- ・緑化フェア時に、せせらぎ水路で遊んでいる子ども達の姿が印象にある。
- ・広瀬川の水位に留意しつつ、アクセスのしやすさや水辺に近づける条件のいい場所である。

仙台・青葉山エリア 文化観光交流ビジョン

青葉山エリアのコンセプト

杜の都の「歴史」と「今」と「未来」をつなぐ
～ 特別な空間と時間を青葉山エリアで ～

青葉山エリアの目指す将来像

- 市民や来訪者を惹きつけ、仙台の観光交流をリードする
- 自然を生かし、杜や水と暮らす都市文化を未来に引き継ぐ
- 歴史や文化・芸術を伝え、創造性を育てる
- 学都の知と先端技術で未来社会を牽引する

※将来像実現に向けた取り組み方向性として、広瀬川は憩い、親しめる環境の整備や広瀬川親水イベントの充実が挙げられている。

出典:仙台・青葉山エリア 文化観光交流ビジョン 令和5年3月

【水辺の使い方】

- アクティビティ
- イベント
- 学び
- ・
- ・
- ・

【フィールドワークでの意見】

- 水辺へのアクセスと親水性の向上
- 自然環境、景観への配慮
- 歴史や文化に触れる案内板
- 人工構造物と自然環境との調和
- 観光資源としての活用

広瀬川(大橋周辺)水辺利活用 基本方針

【周辺施設との連携】

- 西公園
- 青葉山公園
- 音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設

【着目したいポイント】

- 回遊性
- 自然を活かしたこどもの遊び環境
- 自然環境の保全
- 広瀬川の歴史や文化の伝承
- 治水とのバランス

1.青葉山公園河川敷ゾーン



R5緑化フェアのメイン会場の1つとして整備された緑地で青葉山公園追廻地区に隣接するエリア

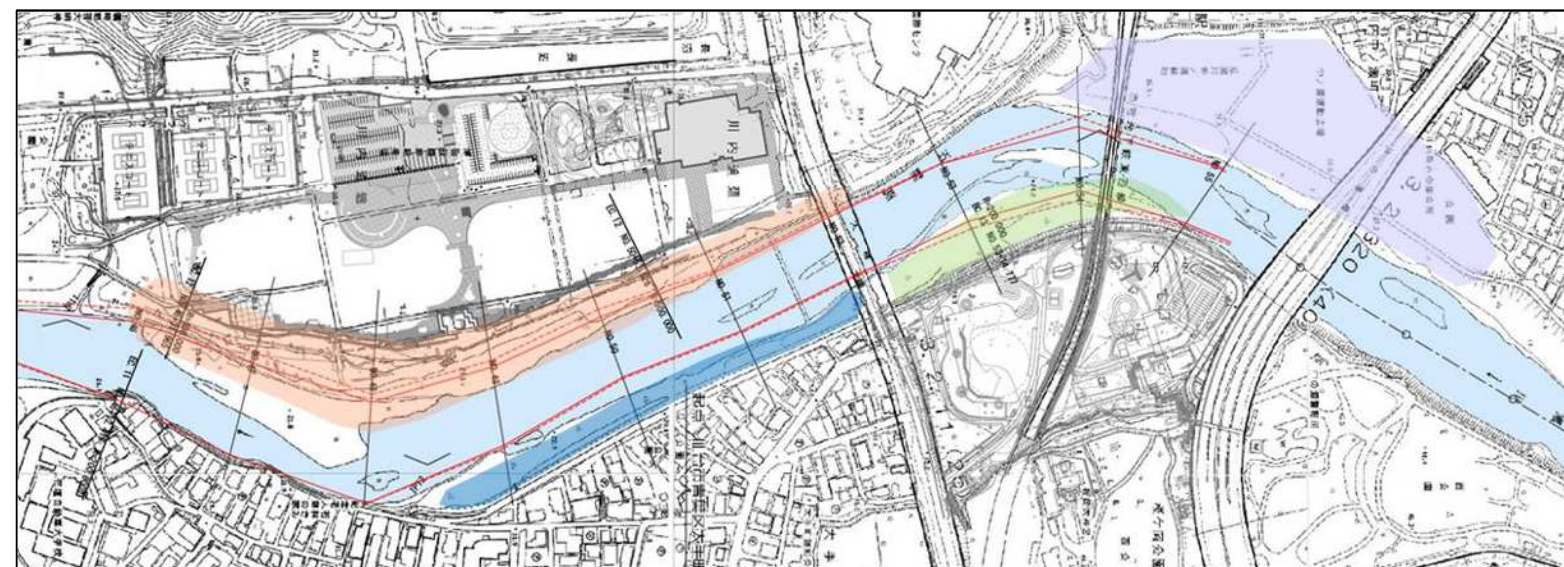
Keyword: 青葉山の歴史・文化、中州の管理
青葉山公園との一体性

2.広瀬川仲ノ瀬緑地ゾーン



有料運動施設として青葉区が管理するエリア

Keyword: 河道の変化、親水空間、樹木管理
対岸へのアクセスの可能性
音楽ホール複合施設との一体性



3.住宅河川敷ゾーン



大手町や花壇の住宅地に隣接するエリア

Keyword: 青葉山・大橋の眺望、護岸の修景
大橋の歴史、対岸へのアクセスの可能性
(イベント:「浮棧橋」の事例)

4.西公園河川敷ゾーン



R5緑化フェアのメイン会場の1つとして整備された緑地で西公園地区に隣接するエリア

Keyword: 親水空間(せせらぎ水路等)
西公園との一体性、陸閘ゲートの管理
西公園からの眺望